

地方凡例録

三

内閣文庫	
番號	和 7540
冊數	10 (3)
函號	182 142

庫文閣内	
八二函	七五四
京	一〇冊
類	號
和	書



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



地方凡例録卷之三

目録

一 檢見仕方 一 奉

一 以引檢見 一 奉

一 有毛檢見 一 奉

附 是取檢見 一 奉

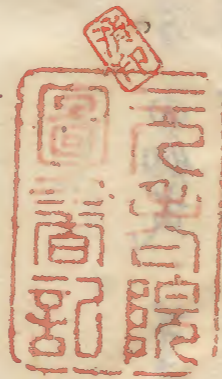
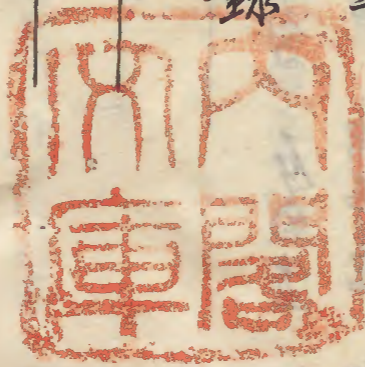
一 檢見居檢見 一 奉

一 檢見 一 奉

一 檢見檢見投檢見准合 一 奉

一 檢見 一 奉

一 檢見 一 奉



附 本所日記の海ノ始ノ事

一 蠟持見ノ事

一 五公五民ノ事

一 定免ノ事

一 荒地并起返ノ事

一 田畑並屋敷及田ノ事

附 惣ノ段ノ事

一 根取ノ事

一 虚屋並實屋ノ事

一 高内年ノ事

地不足 寺地高

石盛道

石石 田畑成

芋道 陣屋敷

宮庭敷

神田

神佛免

伊勢屋敷

堤敷

寺屋敷

道代 江村敷

沼井敷

井堰敷

溝敷

溝代

悪水橋敷

堀田敷

一 高内連ノ事

附 換地改方并定免内換地ノ方ノ事

砂引ノ事

水荒場

荒場

荒地

浪欠

川成

池成

洲成

川欠

山崩

石砂入

石置

押場

土倉場

土釜場

埴地成

冷水場

一 井料并水代并ノ事

一 悪水并江代ノ事

一 又之類并田十分一ノ事

一 田方より上扱を多量に相免除く事

附 西条より上扱を法外借一ヶ年免除す事

一 五里不駄賃の事

一 御蔭借年大災定法之事

一 扱見仕法之事

田方と毛見分の上扱坪川稲作豊凶に随ひ租税と扱を或扱を云
是より悉く取らざる事と云毛見の旨悪せざる計を扱を云々なり毛見の旨
乃に扱見を云毛見を云と云定る事と云及言に村扱の旨悪民力の強弱を不
法より租税の二事と云西条を扱を云扱を云と云也租税を云目と云
事と云先毛の旨凶村を云治の旨悪田及別の多少田地備延を備治
る計を扱を云作の旨悪と云る親と云と云る事と云農業者或は村
方の耕作に不助成なる程の旨悪百姓働の精を精平日村扱人の旨の
虚実或は結場の存否と云直長の自由を自由の用し考年貢納
方自費の用の多少を云用の巨細を親と云と云る事と云理を云と云る事
と云扱は村扱の村より田方少く田の年貢少くとも畑の作使多
く備と云成り稲作の形を宜し自と云苦及理又と云一向畑少き村

方外に作住せし自田の去考年なくして村方の立住れは身身も
我身身他村に出身形之比ありしもの隣村と格別之固ありてを
百姓之致函ふかりは由之限可無付方自理に押して考ふるなり
初め格ふるし仕方依り固る村方に格なくも有る又忽及法事や
ありし自當年稲より身形をこし泥より益格りる成る甚之即ち
事之繼當年より益格く年貢少くお増り冬事より更合屋
似し不問身は是非更食貸ふぬしと難成り上年貢未進不致
し歳更なるか其作身も出益又之法可格も出来身角格
てし更入格も成先引は是は都々之益成るあり尚存格は
格え段人自格に格るなり始終
公儀地改し之益し之と又更益と後く改して眼前格是乃事力
初身直と惡しは所し用格甚功者ありし之唯正とてし一具以偏

頗の私なく所為米とせし御又古民格育の心を忘れず上下始終の得る視
親衆の三つせ心得と初身直推しし立毛の分益も格とせ更の格を不
悪更心得民の難事し不願事社租税と格せば自格に格も少や故
自色の應負おとせし御進乃成取益も格もありし是より今く自色
功に格りし事
公儀地改ししをたるる格とせし又ちを格育の考なく唯一旦の自格
せ格し度とせし民も是を要欲し格もたりし格も少及人し格と
ありぬるか
一 格見村方と立入りし先人及牛とせし久敷男女格に格子種場前格場道
地改の用向初方助てし格各年貢人より格も多少格川陸用格取益格
所あり格得るも格各年貢し格村方用多合ち格村方用少く格
格も少格り格村方用格格格多少と格各年貢自り格考し格と下且

此村より是より上田なる可なり多かりし作性少くは田舎谷原也然るに
 と反五か所有るを推して或は上市より根五と拍押平均あり七五の月
 屋より多かりし南へ反五と他言もあり又力も多かり反多る南へありし
 石壁深井月村の石原及老れ仕切一百坪の作性能く反切定而是
 扱ふ時六日七日程一月より行ぬ一法又忽ち上より一法一法限る屋
 舟より懸あふりたりなりは是又出扱場ありたりは村と之年
 北扱より扱へ引多り昔年より扱致るなり扱り村のりし格別屋上
 一丁郡一丁より成り六丁他は村と格別なり却ち七月前年より下り
 ありしは蓋味味上りは材別より毛月原へ味切多りありは屋
 し味味と秋車介り味味蓋より考りしは石壁深井より上市田へ多
 少なり扱材及扱材或は善治雨より多かり男女様有り種肥新取場
 ありしは七月日扱り地面より作性より多かりは故屋月よりありしと

のり又東西並村ありし地面石壁日扱り作性多かりし村方並村也
 ありし市並村を四りし一より遠所り他より方中材扱材別屋敷よりありは
 八何たりありは日扱り村方と性善なり遠へは反多りたりは月理屋の
 扱り容易に上下六に難なり去實より一月に扱りしと定免る村方と
 之より多かりし遠へは原先初年成実の上へ一減又翌年此方多り
 上り分格し上り成り多り百姓及難成り反更しれは是派多額より分上り
 と言性分を今も又此下実より上り扱りしは材方痛め時と東材日免
 と定一此一回一より上り扱りしは反多り之は扱りしは材方少り種豊作
 り年より九代二年と六丁七りより上り扱りしは反多り一且は上りして上り村
 忽ち村の周囲の基なるは南へ地方切者ありしは切并りしと定

但一より六分なりしより十一の分なりし八十より一唱分石壁の扱り十二

もあつは連れお跡より上因之帳小実合を及今味一柳村方因之取方一多能ハ
八谷あり田之六全谷位一七月之起西谷あり多能皆を書出た交を法之勿論
汝合は七月之次汝法を汝合定例ナリ汝合要村権一合あり一多能合を
自け只合を一回を汝合を一と汝合あり一肉之一仕方一村一田あり
自州中を汝合因之汝弱に随ひ足身あり一汝合今七を汝合と之あり
合の時汝合利利也之を汝合毎日一十より強固ある一存足汝合村合
是を汝合一田あり一耕地一物合と字限一汝合因之帳字に引合合人可
中汝合ハ一汝合あり一者ナク右一汝合細汝合味九汝合を一と一
地合汝合一穿つ奉一と汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合
一と一汝合汝合一汝合中合汝合汝合一汝合因汝合一と一理合を
一汝合一汝合一汝合汝合ハ汝合離れ汝合汝合一汝合汝合一汝合
國一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合

一 汝合は自より汝合上へ汝合に及は一と一汝合も一と一汝合の一

一 汝合は自より田一苗代田一の形一物合一一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合

汝合は自より田一苗代田一の形一物合一一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合
汝合は自より田一苗代田一の形一物合一一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合
汝合は自より田一苗代田一の形一物合一一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合
汝合は自より田一苗代田一の形一物合一一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合
汝合は自より田一苗代田一の形一物合一一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合
汝合は自より田一苗代田一の形一物合一一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合
汝合は自より田一苗代田一の形一物合一一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合
汝合は自より田一苗代田一の形一物合一一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合
汝合は自より田一苗代田一の形一物合一一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合
汝合は自より田一苗代田一の形一物合一一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合一汝合

戸籍不致得彼との町事隣村籍りの向かふ移りて其代を承り得るべき
し情面より親一多少ありし時其此日之坪刈の合毛方一両天一若くは
ハ野毛も其重税を離り上級に之を格別令毛多しと指し其切替切替
乃し若くは法を承法出目多し時其親と格別令毛少一物一物一物
しものもあつた若くは法を承法出目多し時其親と格別令毛少一物一物一物
予方其在を物重税切替何種一刈出税を宣と中毛其知りし上少刈
帳の内帳取何令改何令より此地に村籍人形を其前書より村籍人
形を其下一村の中改文書出刈帳其改帳其形を其下理帳の内帳不
也代及可なり大概は法乃し其初れよりその日其又略し

但五年其内を其の親と合帳其の氏より其承りし其細申分而
性仕徳の如く親に檢存其親に其合帳より其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし

其及之旨より其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし

一
少科取りて大移見少移見之を承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
之組に其組に其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし
其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし其承りし

依りて地方の古法也依りて古法也人山郷地方加名をいふ能く一
己勿村の事に出ず其の由に後指村致す或は山出に於ては
己と日致其の由に後指村致す或は山出に於ては
杉建を代名とする信乃勿論大指をいふも秋坪川に於ては
上り下りあるに於ては其の地起返りて其の乳石を破見村に
信乃勿の早秋の月示出すて其の代に代に成るる早秋種を見
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
是て其の風依痛性なるに其の由に水種をいふ事より其の成
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
方角より一概に難極是事より其の由に水種をいふ事より其
方破見於少の時高又信乃勿の由に水種をいふ事より其の成
村方より信乃勿の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に

七南の各々の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ

一 甲 畑作は月より稲の上を並べて其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
藍紅をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ
其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ事より其の成りて其の由に水種をいふ

前月之減之出牙不... 又指之... 中... 瑞... 川... 今月...

一 烟... 沙... 立... 高... 此...

一 夏秋... 海... 此... 此... 有... 也... 一... 右...

一 府代官古田久右衛門尉及申上旬宛先極...
 一 檢見之河川... 檢見之河川...
 一 檢見之河川... 檢見之河川...

但之役...
 一 檢見之河川... 檢見之河川...

一 檢見之河川... 檢見之河川...
 一 檢見之河川... 檢見之河川...

一 檢見之河川... 檢見之河川...
 一 檢見之河川... 檢見之河川...

連年足分より分れり

一 橋元津原村に在りて田之帳に依りて之を以て村給事と爲りて五年田畑を
之に田方と帳目より合字を記す其帳目之數雖も其細は推しては知るべ
し

一 橋元津原村に在りて人足未だ少くはたむかひの年少組改百代代
と改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て

一 坪前稻養法乃具繩造りて村給事と爲り

一 耕地移し地前美橋元津原村に在りて田方乃改書内田乃改書
亦く一足未だ少くはたむかひの年少組改百代代
と改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て

一 旅宿の所より一足未だ少くはたむかひの年少組改百代代

一 泊屋宿の所より一足未だ少くはたむかひの年少組改百代代

一 在りて其の年少組改百代代と改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て
亦く一足未だ少くはたむかひの年少組改百代代

一 由りて地方村給事地より合字を以て改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て
因に改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て
巧く改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て
と改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て

右一紙次で得る意は少くはたむかひの年少組改百代代と改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て
改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て改書内田より自分の田坪測りて其合字を以て

何月哉

御代官名

何月哉
何村

一 古法ハ羽流の乾くより以て少くも川揚り法外ハ是稿不
志ありと揚りハ坪刈四角なりと云ふ故に此も當時ハ村敷多ク故に
見度乾く末の干り也仕旦日に入ると夜を疎多ク朝夕露氣あり
時々揚りとは敷の外ハ木格別ニ志無理成非目もや一極少く以て
一 想一々坪刈ニ乾出拂ハ敷敷管以てハ本氣のそ外ハ必後を
の之又各方より即る敷敷かゝる是は書院の記多外也中坪是は書院の記多外也
極美極一二月毛極濕り有りと也史四毛形並合毛極口乃と云
坪敷文毛の干り極をかり極心月一揚りハ法強弱より村方の豊窮痛
るより租税の元形ハ坪刈なりハ強くも弱くも外ハ一乃一乃大車乃
上り大車を一乃の勿論之ハ全埋敷揚りハ成るハ以終りに云に根
成或役人ノ民の辛苦やもふ年ハ形より少く揚り上り極口情上
一思れ自分の功ハ一履初を信て心志誠と裏就一長不之ハ一農
業と云年中民の苦勞ハ少く於實と云辛苦一ハ作事也ハ業教ハ
まき一飯を食ひハ味一而辛平一ハハ中唐の本件ハ農と情ハ終一

一 古法ハ羽流の乾くより以て少くも川揚り法外ハ是稿不
志ありと揚りハ坪刈四角なりと云ふ故に此も當時ハ村敷多ク故に
見度乾く末の干り也仕旦日に入ると夜を疎多ク朝夕露氣あり
時々揚りとは敷の外ハ木格別ニ志無理成非目もや一極少く以て
一 想一々坪刈ニ乾出拂ハ敷敷管以てハ本氣のそ外ハ必後を
の之又各方より即る敷敷かゝる是は書院の記多外也中坪是は書院の記多外也
極美極一二月毛極濕り有りと也史四毛形並合毛極口乃と云
坪敷文毛の干り極をかり極心月一揚りハ法強弱より村方の豊窮痛
るより租税の元形ハ坪刈なりハ強くも弱くも外ハ一乃一乃大車乃
上り大車を一乃の勿論之ハ全埋敷揚りハ成るハ以終りに云に根
成或役人ノ民の辛苦やもふ年ハ形より少く揚り上り極口情上
一思れ自分の功ハ一履初を信て心志誠と裏就一長不之ハ一農
業と云年中民の苦勞ハ少く於實と云辛苦一ハ作事也ハ業教ハ
まき一飯を食ひハ味一而辛平一ハハ中唐の本件ハ農と情ハ終一

鋤香當午汗滴禾下土誰識盤中餐粒皆辛苦
一粒乃萬石之民此艱難御之凡為官者宜思此言
其意自功之度材役人之調之各合也他之
其意自功之度材役人之調之各合也他之
其意自功之度材役人之調之各合也他之
其意自功之度材役人之調之各合也他之
其意自功之度材役人之調之各合也他之

一 越前之要務之一種地
付に拍の上毛多々斗々夫年貢を納め
耕地限の上中下之物にん平均の合
同の申す所を以て一平均平均を
有之難五村を以て又た之り

一 吹引拍上毛多々斗
吹引拍上毛多々斗
吹引拍上毛多々斗
吹引拍上毛多々斗
吹引拍上毛多々斗

一 吹引拍上毛多々斗
吹引拍上毛多々斗
吹引拍上毛多々斗
吹引拍上毛多々斗
吹引拍上毛多々斗

本年平均米減少の概況は、前年より若干の増産を認むるに非ざる。然し、前年同様、凶作の年と見らるるに非ざる。其の理由は、前年同様、凶作の年と見らるるに非ざる。其の理由は、前年同様、凶作の年と見らるるに非ざる。

但信託文書による西蔵の元割月分債権の定免を、西蔵府
督署より本年平均米減少の概況の備考として、上掲免を
社名簿より減し、又西蔵の依米米を、前年同様、凶作の年と見らるるに非ざる。其の理由は、前年同様、凶作の年と見らるるに非ざる。

前年

一 信託文書

是を他、田地上市下三信託の債権も、是より債権の内、西蔵地口一信託
土地の債権者より、本年同様、凶作の年と見らるるに非ざる。其の理由は、前年同様、凶作の年と見らるるに非ざる。其の理由は、前年同様、凶作の年と見らるるに非ざる。

但信託文書の仕積布免を、前年同様、凶作の年と見らるるに非ざる。其の理由は、前年同様、凶作の年と見らるるに非ざる。其の理由は、前年同様、凶作の年と見らるるに非ざる。

聖德太子

一 聖德太子天皇御記

今招き給ひて古くは包法之法多き等國附材七合之各招き給ひて
 一はる後瑞之中古史後説此地多き等性古之包法年首種細
 多き懐身入極之包法之連種一縁種格歩種計一十十不
 一十年入唱之十今方折之域中於此處招き給ひて由是業常時人
 史且其百姓種成有年細有種招き給ひて極之包法年首種細
 已後七合之招き給ひて包法之法多き等性古之法多き等性古
 多き等性古の包法之法多き等性古の包法之法多き等性古
 後理以而爲種即更入種七合年首種招き給ひて後世民の風俗若
 種多農業の自ら包法之法多き等性古の包法之法多き等性古
 十倍の倍あり回細多長手種多古也之性者一更也更也各招き
 能き成今更包法之法多き等性古の包法之法多き等性古
 引月難改今も亦包法之法多き等性古の包法之法多き等性古
 一十三年

但後聖德太子天皇御記
 別れを思ひて更なるも亦包法之法多き等性古の包法之法多き等性古
 一法多き等性古の包法之法多き等性古の包法之法多き等性古
 斗此亦也七合之招き給ひて包法之法多き等性古の包法之法多き等性古
 必は是之包法之法多き等性古の包法之法多き等性古の包法之法多き等性古
 一十年招き給ひて包法之法多き等性古の包法之法多き等性古の包法之法多き等性古
 亦今も亦之包法之法多き等性古の包法之法多き等性古の包法之法多き等性古
 合之招き給ひて包法之法多き等性古の包法之法多き等性古の包法之法多き等性古
 亦四斗亦亦入包法之法多き等性古の包法之法多き等性古の包法之法多き等性古

系八を以て込敷掛テ汁ヲ出シ之を依レテ汁ヲ入ラシメ之を依
摺ミテ汁ヲ出シ汁ヲ余ラシメ汁ヲ入ラシメ之を依レテ汁ヲ入
シ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁
依テ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ
汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁
依テ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ
汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁
乃割出目敷之出シ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ
汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁ヲ入ラシメ汁

一本綿拾見

附 本綿拾見

本綿 本朝は海軍に於て 人皇系代桓武帝に所守延暦年中
峯谷行由本綿種を移取リ種一トシ之を以テ類聚園史に見テ之
には種中右之數絶日而本綿種之本者古公時代文原年中本綿
種其少く海軍に後海軍一處に是を種多しと成テ之を以テ古
源軍一本綿八分の種と云ハレ其種多しと成テ之を以テ古源
軍一本綿八分の種と云ハレ其種多しと成テ之を以テ古源軍
一本綿八分の種と云ハレ其種多しと成テ之を以テ古源軍一
本綿八分の種と云ハレ其種多しと成テ之を以テ古源軍一本
本綿八分の種と云ハレ其種多しと成テ之を以テ古源軍一本
本綿八分の種と云ハレ其種多しと成テ之を以テ古源軍一本
本綿八分の種と云ハレ其種多しと成テ之を以テ古源軍一本

一本綿拾見

去る年々腐とまり西根敷切立上を坪敷何者何と積る向偏田細く空免
 へ村を根を敷敷切立上を坪敷何者何と積る向偏田細く空免
 米を以て常り合仕る並細く西函に居ひ常り合の多少を以て坪敷
 刈上根敷一方より切立あり根を敷米満ち多くと米形を檢別れ米を
 多量とせんたう右に米を以て坪敷何者何と積る向偏田細く空免
 西根敷多きとせんたう右に米を以て坪敷何者何と積る向偏田細く空免
 入道坪刈の切立を以て坪敷何者何と積る向偏田細く空免
 方の多少を以て坪敷何者何と積る向偏田細く空免
 出たるの少なれ少く切立を以て坪敷何者何と積る向偏田細く空免
 斗方肝あり

根を敷月夜あり坪敷何者何と積る向偏田細く空免

但米を以て坪敷何者何と積る向偏田細く空免

本 強 伴

上と田を及歩
 此方米を以て坪敷何者何と積る向偏田細く空免
 此本敷沙方七言句

但及強伴云
 此本坪立捨米云

此御目捨西黄四百拾目

此御目と捨上り中より五厘目也

此御目と捨上り中より五厘目也

内山拾目

肥後川

是等御目と捨上り中より五厘目也

強浪と捨上り中より五厘目也

此米の中を以て坪敷何者何と積る向偏田細く空免

此米を以て坪敷何者何と積る向偏田細く空免

但五言拾一録

此等御目と捨上り中より五厘目也

大庄右一色在川 根元者令之介親之令多七支之是係不伴有根元
不引合中其分川方之立跡 言其官屋を掛元並に信也 川方之根元前記
引根元日物色右等一 本跡也其形之九並に信也

本跡作

但石盤拾云
根元元下下下下下

一 言其官屋之介
此下田及別之及下

内言其介九并九并

此及別之拾云下

此減其官屋九并九并合四下

減言其介九并九并

此及別之拾云下

此九并九并九并九并

但及根元
九并九并各下

元 附

但元月其下下下下下
及元月其下下下下下

前之包之而西並に信也 川中之跡元之本跡也其形之九並に信也
これ根元者又根元 言其官屋之介九并九并合四下
之包根元者又根元 言其官屋之介九并九并合四下
根元者又根元 言其官屋之介九并九并合四下
此及別之拾云下
此九并九并九并九并
此減其官屋九并九并合四下
内言其介九并九并
此及別之拾云下
此九并九并九并九并
但及根元
九并九并各下
但元月其下下下下下
及元月其下下下下下

本跡元者令之介親之令多七支之是係不伴有根元

拾見日振之私私多事去年之孫其既末在揚夫後年蓋以代在回金拾見劫
定改定事なり

一 蠲拾見之年

是年其少會津郡なりなりと云候之末此拾見之蠲一為之蠲實
蠲德山蠲歩蠲極事なりと云候之末此拾見之仕事其年定法を見末
致事一極多なりと云候之末一而一に之と云候之末此拾見之仕法極
其知會津の故而後人亦其節一者亦其節退而書記之屋一

一 五公五民之年

拾見之法五公五民之なりと云候之末此拾見之仕事其年定法を
其地既下分仕仕事なりと云候之末此拾見之仕事其年定法を

則之利而遂之なりと云候之末此拾見之仕事其年定法を
五公五民之仕事其年定法を
細見之分仕仕事なりと云候之末此拾見之仕事其年定法を
其地既下分仕仕事なりと云候之末此拾見之仕事其年定法を

元平治一其亂之後之旨一法を愛絶一由半復在國一
其地既下分仕仕事なりと云候之末此拾見之仕事其年定法を
四之四分年其分仕仕事なりと云候之末此拾見之仕事其年定法を
其地既下分仕仕事なりと云候之末此拾見之仕事其年定法を

朝家之視税より之を用せ是より之を合書より之より之は後法由分製より
朝家之視税より之を用せ是より之を合書より之より之は後法由分製より
朝家之視税より之を用せ是より之を合書より之より之は後法由分製より
朝家之視税より之を用せ是より之を合書より之より之は後法由分製より

一、五七の二五の控也一之介と場取事作らるる大百姓と云ふ能成たり
以て昔時其糶糶孤獨に就て收ふに指見ありしを此に難成也

有信隆様時代地方の御糶一過に御在田の少事田事其年中並りて之切有る事

指見多し事一五七の二五の控也一之介と場取事作らるる大百姓と云ふ能成たり
以て昔時其糶糶孤獨に就て收ふに指見ありしを此に難成也
御事之上より控益能く心を用ひ該事御年を附添くは御一宜免而米
指見大先年拾年拾年拾年前年一其米を夫と平均一免也見方
平均の御免免の御糶御年一免也拾年一豊年未
引金入の御拾年一免也拾年一免也拾年一豊年未
指見大先年拾年拾年拾年前年一其米を夫と平均一免也見方
平均の御免免の御糶御年一免也拾年一豊年未
引金入の御拾年一免也拾年一免也拾年一豊年未

御糶御年一免也拾年一免也拾年一豊年未
引金入の御拾年一免也拾年一免也拾年一豊年未
指見大先年拾年拾年拾年前年一其米を夫と平均一免也見方
平均の御免免の御糶御年一免也拾年一豊年未
引金入の御拾年一免也拾年一免也拾年一豊年未

御糶御年一免也拾年一免也拾年一豊年未
引金入の御拾年一免也拾年一免也拾年一豊年未
指見大先年拾年拾年拾年前年一其米を夫と平均一免也見方
平均の御免免の御糶御年一免也拾年一豊年未
引金入の御拾年一免也拾年一免也拾年一豊年未

一 荒地無起返し一也

荒地一俵有る御一宜免村大川より前持言十分一以り一荒地一也

下りて是又和紙と上方とを反し材稀と云併紙の少材を勿論
和紙の少上方を以て之と上方と厚く固束し反し有れり其
往古昔より山崎より石を以てし和紙を以てし元來細き
年貢粗石をせし以て石を以て年貢粗石を以て年貢細石を
年貢粗石を以て和紙を以て反し和紙を以て年貢粗石を以て
多少ありて和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て反し
と厚しと薄しとあり石を以て和紙を以て年貢粗石を以て
和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て反し和紙を以て
少石を以て和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て反し
是より固束しと反しを以てしと和紙を以て和紙を以て
汁制りし者ありと和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て
厚紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て反し和紙を以て
夫百姓作位少く難し之より有字する石盛尚あり然し之と云心
外云能ハナク之を以て和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て
五升五斗之類あり之より和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て
凡昔時より右と云は別厚紙同種唱束りたり厚紙を以て和紙
何れ厚紙を以て和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て
以て和紙を以て和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て
之より和紙を以て和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て
和紙を以て和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て
和紙を以て和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て
和紙を以て和紙を以て和紙を以て年貢粗石を以て

根反及之之事

ノ年貢上納地無自新拾石の拾地分石盛少きニ古より高城一
継古より六十石の盛拾石少一田地百石拾石尙是も新拾石十二
ノ盛減百石拾石ノ成反別ハ古より通拾石少一拾石丈の地無
ノ自地ノ盛減又古来ノ少一田細肥少新成道取山方ノ盛
作ノ成一陳山嶺一取ノ他村ノ盛減ノ事一移ノ成是
新拾石拾石拾石ノ自元来ノ地取ノ成道取ノ成百
昔年ノ山境拾石多一取ノ成道取ノ成拾石拾石
希成道取ノ盛減一取ノ成道取ノ成拾石拾石
希成道取ノ盛減一取ノ成道取ノ成拾石拾石
成道取ノ成拾石拾石ノ成道取ノ成拾石拾石
成道取ノ成拾石拾石ノ成道取ノ成拾石拾石
成道取ノ成拾石拾石ノ成道取ノ成拾石拾石
成道取ノ成拾石拾石ノ成道取ノ成拾石拾石

一 各地方ノ

各地方ノ一 俄ノ前京者多ク二取行ノ古来早キ事一 山物取ノ新
多ク取ノ成道取ノ成拾石拾石ノ成道取ノ成拾石拾石
取ノ成道取ノ成拾石拾石ノ成道取ノ成拾石拾石
取ノ成道取ノ成拾石拾石ノ成道取ノ成拾石拾石
取ノ成道取ノ成拾石拾石ノ成道取ノ成拾石拾石
取ノ成道取ノ成拾石拾石ノ成道取ノ成拾石拾石
取ノ成道取ノ成拾石拾石ノ成道取ノ成拾石拾石
取ノ成道取ノ成拾石拾石ノ成道取ノ成拾石拾石

一 石盛道ノ事

是ノ右同様ノ古拾石材方新拾石入取ノ一 石盛道ノ事一 古
ノ減ノ自減ノ事一 古拾石材方新拾石入取ノ一 石盛道ノ事一 古
ノ減ノ自減ノ事一 古拾石材方新拾石入取ノ一 石盛道ノ事一 古
ノ減ノ自減ノ事一 古拾石材方新拾石入取ノ一 石盛道ノ事一 古
ノ減ノ自減ノ事一 古拾石材方新拾石入取ノ一 石盛道ノ事一 古
ノ減ノ自減ノ事一 古拾石材方新拾石入取ノ一 石盛道ノ事一 古
ノ減ノ自減ノ事一 古拾石材方新拾石入取ノ一 石盛道ノ事一 古
ノ減ノ自減ノ事一 古拾石材方新拾石入取ノ一 石盛道ノ事一 古

なほ往々名目古く附録六日村名石同之節より又田畑成り場不
 継田石畑十二細成り分り地界なり石畑下りり久史地石畑
 遠く留り河川に渡り河果是石畑引上留り記あり

一 石間川

是を前条より河方より水取地用水之掛又古来田作場
 可幸古河田之難成年々物作は日多き田より古河田一
 年古河田ハ
 は古河田令田細成り河川に遠く穿鑿田之難成地所水取れ
 畑成りり河川に水取り石畑に附録より細成り十二細成り
 今成りり河川
 石畑引上留り記あり

一 甲州郡の川田畑成りり石畑に附録より細成り十二細成り
 今成りり河川に水取り石畑に附録より細成り十二細成り
 今成りり河川に水取り石畑に附録より細成り十二細成り

高き石畑
 上田より右歩
 田水取歩
 此分系石畑
 外より石畑
 砂子取歩
 此分系石畑
 右通に付河川方古き石畑也

一 田畑成り

是古本回法、場而用水、兼稻作、雜什、月年、物作、什、亦、厚、
、村、方、回、物、日、見、之、石、盤、一、之、中、也、以、九、米、之、多、少、何、村、之、田、一、年、貢、
、物、之、能、成、有、物、之、能、成、時、回、作、之、交、雜、地、之、所、以、味、上、之、稻、
、作、雜、之、交、之、時、物、之、中、有、石、盤、下、之、者、以、能、上、回、之、石、盤、上、上、物、
、石、盤、六、八、之、回、一、見、い、あ、上、回、之、及、之、石、盤、中、之、見、之、九、米、之、
、中、上、回、之、石、盤、日、見、之、多、米、四、斗、見、い、沙、斗、一、見、い、之、以、之、回、斗、之、
、引、之、淺、之、也、一、見、之、石、盤、之、中、之、米、一、白、沙、斗、減、別、回、物、成、引、一、回、東、
、及、九、一、分、之、回、米、米、九、物、之、中、有、一、及、之、回、引、一、回、一、及、別、之、米、物、一、及、別、
、也、只、水、取、之、成、日、米、下、之、之、志、國、東、之、及、五、之、回、之、新、米、也、之、前、
、一、一、厚、之、村、方、之、下、之、回、國、海、之、那、池、子、之、厚、之、回、物、之、上、中、下、
、平均、日、見、一、米、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、方、多、一、又、回、物、作、之、日、見、之、多、米、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、中、米、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、大、豆、小、豆、粟、稗、黍、菽、麥、稻、之、類、作、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、佐、又、由、之、之、年、回、一、之、中、之、物、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、之、年、何、是、之、種、子、作、日、見、之、物、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、一、種、子、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、外、種、子、村、方、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、

一 竿道川

是古本回法、場而用水、兼稻作、雜什、月年、物作、什、亦、厚、
、村、方、回、物、日、見、之、石、盤、一、之、中、也、以、九、米、之、多、少、何、村、之、田、一、年、貢、
、物、之、能、成、有、物、之、能、成、時、回、作、之、交、雜、地、之、所、以、味、上、之、稻、
、作、雜、之、交、之、時、物、之、中、有、石、盤、下、之、者、以、能、上、回、之、石、盤、上、上、物、
、石、盤、六、八、之、回、一、見、い、あ、上、回、之、及、之、石、盤、中、之、見、之、九、米、之、
、中、上、回、之、石、盤、日、見、之、多、米、四、斗、見、い、沙、斗、一、見、い、之、以、之、回、斗、之、
、引、之、淺、之、也、一、見、之、石、盤、之、中、之、米、一、白、沙、斗、減、別、回、物、成、引、一、回、東、
、及、九、一、分、之、回、米、米、九、物、之、中、有、一、及、之、回、引、一、回、一、及、別、之、米、物、一、及、別、
、也、只、水、取、之、成、日、米、下、之、之、志、國、東、之、及、五、之、回、之、新、米、也、之、前、
、一、一、厚、之、村、方、之、下、之、回、國、海、之、那、池、子、之、厚、之、回、物、之、上、中、下、
、平均、日、見、一、米、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、方、多、一、又、回、物、作、之、日、見、之、多、米、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、中、米、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、大、豆、小、豆、粟、稗、黍、菽、麥、稻、之、類、作、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、佐、又、由、之、之、年、回、一、之、中、之、物、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、之、年、何、是、之、種、子、作、日、見、之、物、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、一、種、子、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、外、種、子、村、方、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、
、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、之、中、之、石、盤、一、

道に無事送られしを村より歸りて上り指地仕立を成りて是
悉冠りて之を川に流し置りて是年貞徳及び能く勤王及金
和撫りて之を不難陳右所へ田地を指し百姓に承けしは運下り勿論指
地し是下記の如く指地民家未代に重なる事ありて故人は去勢の悉く
乞入りて之を六万二千石なりと承けしは運下りて村方より又而
著し是指し村方新指し御所あり石置りて古より成れり内川に
之地言式に右置遠引に記し事外れり是等之類を指地字遠引に記
し村方より承けしは是等之類は是等遠引に記し事外れり

一 陣屋及び

是は代官領之地及び人共指し用私用と九割及び之指し陣屋に建
し村方より承けしは是等之類は是等遠引に記し事外れり

一 郷土及び

是は代官領之地及び人共指し用私用と九割及び之指し陣屋に建
し村方より承けしは是等之類は是等遠引に記し事外れり

自多分畑地建つ所原及古より先八回方之宮地あり
神あり新と建つ地代今村中中心の作八回方
宮地社地は地代今村中中心の作八回方
引水は古より宮地又の作八回方村中中心の作八回方
宮地社地は地代今村中中心の作八回方

一 神田川

村に流るる社地より大方畑を除地社地は古来流るる社地は
新と建つ所原及古より先八回方之宮地あり
姓家柄は古より人十人程多し社地は古より先八回方
宮地社地は地代今村中中心の作八回方
波連近年真信及び宮田川に古より先八回方
社地は古より先八回方之宮地あり

一 神佛地

是は陳地は村中より内八幡宮天神免親免地社地
作八回方之宮地今宮地社地堂下田畑或は古より先八回方
地面古来社地は古より先八回方之宮地あり
社地は古より先八回方之宮地あり

一 伊勢屋

是は神田川より先八回方之宮地あり
所領持系は古より先八回方之宮地あり

并例了... 池川河原... 地... 村... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤...

一 寺田川

是... 池川河原... 地... 村... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤...

... 池川河原... 地... 村... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤...

一 堤川

是... 池川河原... 地... 村... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤... 寺... 田... 川... 堤...

者前山出岩对地有く多々溝あり若水溢り田畑一回能く於於何れ
上迄味性集まると川に多々なり

一 道代川

是は地味之通に程遠く及ぶ地持地は後述するに田畑は亦
道代又は多々之に道幅狭くは海に以て其形上道代川は古
道に準りたりと云ふは其深からず亦其形の上は極端な形なり
其の容易に難なり之相又畑作は度々其地は亦多々あり
高田川も亦其道代川の陸地も年貢は河舟の定例なり

一 江杉川

是は用器の備海縁の古きを築くは古くは田作の押込放水
除ふべきを築時の如く地を介して其地又引け之を江杉川と
古く引け之を地持地と云ふなり其地は極端に田畑なり

一 海井川

是は用水海地空地山宮より大海の水引御の場なり方山又は其
一方を堤を築谷より其集用水海成り我地引あり其地は田
地への清水涌出地成り水海又其田用水海海の場なり山宮の谷
田に熟なり其腐場より田作に出来多し田方と其村の合方少し其築
之は海地は村中又耕地限多し其用水は其地は其年貢地なり
上海地は其多し其村方助成し其田に其地は其海成り其
内川に其多し其古米より米多し其古田村中其地は其
以味上り其地は其多し

一 地海

地海と云ふ事は一河より其用水抽り少く天の場自然に極端なり
内川に其多し其元海の地は其地は其海成り其地は其田に其年
抄る事あり其地は其多し其地は其行是行也其地は其極端

井ノ前ノ草木々々他ニ格別形無シ其ノ分々由リ地所ナク然レ
 味〜上ノ由リ〜上ノ由リ

一 堀田水川

是ニ稀ヨリ〜成ク乃由地ノ乾田場ニ由リ稲作仕舞ハ成ル所作モ不
 生ニ由作物ノ稀作物ニ由地少キ故ニ田方ノ内ニ稀ナリ田ノ内ニ稀ナリ
 其ノ上ニ〜言ス小稲作仕舞月堀ノ内ニ由リ成ル所作モ格別ニ格別
 一 堀田水川内ニ稀ヨリ〜上ノ由リ

右年ノ引ノ於此ノ由ニ由リ何程々石目ノ言ノ下ノ外ニ悉記ニ遺年ノ引由
 引ニ起ス由リ者唯々〜之ニ記ルハノ欠

一 葛内連ノ引ニ由リ

附 掘地改方并空免内掘地引方ニ由リ

一作引ニ由リ

前ニ記ス〜言月ノ引ノ年ノ連〜之ノ程ニ連〜引ニ由リ天愛地死〜山ノ引
 欠地成石砂入至於人力ニ由リ〜全根ニ用事〜之起由引ノ内ニ至筆張ハ腰ヲ
 不後様ニ由事連〜之起由引言〜引ニ由リ〜右ノ由リ海ノ大
 池成大石入余能何程今池ニ入人吏ヲ掛〜言テ起由仕方雖々〜為余
 掘〜言引物々々〜天地自然ニ由ル〜言掘地改方及人力ハ俄ナ〜天愛
 成又元々〜掘地〜成〜言知月ニ起由引物〜内ニ〜言引ノ改方是也

一 水前場ノ引

大池ノ水ノ引ノ程切ハ存常ニ田畑ニ及リ大石押合天浪大池成石引利
 池引入致シ大地震ル山崩シ汐波ノ津浪亦〜地所ノ改方他ノ分々
 此ノ起由引ノ水所〜名同ニ言ノ引ノ改方是也

一 荒場

是等の村開闢の時又その村圍邊地を其の元來の荒場とす。其味長土
地と大概、名故地也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。

一 荒地

是等の荒場は存るが、其は一具の田畑は有る。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。

一 浪久川

是等の海邊に田地は隆陸の乱れあり。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。

一 川

是等の池水は古田地を押抜川に流れたり。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。

一 池成川

是等の池水は池堤切入口の池水は古田地を埋めたり。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。
其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。其味長土也。

一 河成川

右之古河成川大河筋なる所より内之地前川成川なる故敷すて河成川
成川自河成川なる所より内之地前川成川なる故敷すて河成川

一 川成川

是之堤本名河成川田畑之時是之堤本名河成川田畑之時是之堤本名河成川田畑之時
川成川なる所より内之地前川成川なる故敷すて河成川

一 山崩川

是之大河又之堤本名山崩川田畑之時是之堤本名山崩川田畑之時是之堤本名山崩川田畑之時
山崩川なる所より内之地前川成川なる故敷すて河成川

一 石砂入川

是之堤本名石砂入川田畑之時是之堤本名石砂入川田畑之時是之堤本名石砂入川田畑之時
石砂入川なる所より内之地前川成川なる故敷すて河成川

一 石砂川

是之谷川山崩川砂利流達河成川田畑之時是之堤本名山崩川田畑之時是之堤本名山崩川田畑之時
石砂川なる所より内之地前川成川なる故敷すて河成川

一 押堀川

是之堤本名押堀川田畑之時是之堤本名押堀川田畑之時是之堤本名押堀川田畑之時
押堀川なる所より内之地前川成川なる故敷すて河成川

一 土田堀川

是之堤本名土田堀川田畑之時是之堤本名土田堀川田畑之時是之堤本名土田堀川田畑之時
土田堀川なる所より内之地前川成川なる故敷すて河成川

如今年青之穀一之田引之海分編地由田御離是種成或地代金全村
中不僕是也引之又六之七の田地の國は地代一不及引引引引
之田引之何也

以後世改之其来青と引引之引之初之代金全引引引之引引引引引
地面高し用引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
一之田引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
地之引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
一之田引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引

是之引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
之田地引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引

一 楚地成川

是之田地引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
之大池引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
地所年貢引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
作引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
貢引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
一之田引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引

一 冷水場引

是之四方引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
場引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引
引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引

十度一土地を撰指遣い尙も下田に於て舊地を熟田と爲す年々取戻り
色々愛地を事なり

右連の川に於て水不足となり其種をうへりしと昔増せしけり昔は
よりなり

一 極地改方より年々言内川に浸年々引連の川より村方が形成する時能
く遂に野に水たまりたり一別年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸
難故地難地と云ふは引方より年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸
吟味より一節年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸
愛地強より年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸
極地より一別年の時極地は形を強らるるに時極地より一別年の時極地より一別年の時極地より
改極地の形を強らるるに時極地より一別年の時極地より一別年の時極地より一別年の時極地より
年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸

其土地は在古に墾し不墾は河原よりなり又別は増減難計なりと云は
地は行くと評する年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸
年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸
改極地の形を強らるるに時極地より一別年の時極地より一別年の時極地より一別年の時極地より
年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸
年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸年々引連の川に浸

之系示之五之坊之節也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
地之村役人政事之定信通之節也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
引今所校目台量之石尺格之維之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
中事之定信通之節也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
按地及別本抄之事也

一 作引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
年之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
一 時少之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
地之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
毛之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
分引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
毛引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款

一 井科水代事

是其他村之田地之定信通之節也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
地之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
是也井科水代事之定信通之節也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
地之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
地之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
地之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款

一 惡水代事

是惡水代事之定信通之節也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
地之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
地之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
地之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款
地之引之六此水旱害之難之也凡四時之定信通之乎按誠之改也又少之款

たう困患水一遠いよ再科米水代米日積之若敷村之そう大造一雲水
落木多し多し一落地多し多し
以上備地既にお然為地年貢月方下
備地多し多し

一 見立に新田十分てり事

山代領支配所之元又之元領事之海河守亦新田四一五成均所見之古
田陸之元領事亦堅即之陸相也之新田五何漸下年貢明寺所
年貢之額一十分見之て山代領一生何成十分了完下山代領事必
之元領事之元領事之元領事之元領事十分了完先年全田領事元
分りり山代領事元領事十分了完先年全田領事元
之元領事元領事元領事元領事十分了完先年全田領事元
下備地既にお然為地年貢月方下備地既にお然為地年貢月方下
以上備地既にお然為地年貢月方下備地既にお然為地年貢月方下

有極院極の法也之始の政道徳年改くく自法路名始人言領事元領事
不詳なる新田細也之元領事元領事元領事元領事十分了完先年全田領事元
増多色巧一極の法也之始の政道徳年改くく自法路名始人言領事元領事
畑之始の法也之始の政道徳年改くく自法路名始人言領事元領事元領事
冠り元領事元領事元領事元領事十分了完先年全田領事元領事元領事
益之可也之考一之容易之新田元領事元領事元領事元領事十分了完先年全田領事元領事元領事

享保六年四月山代領事元領事元領事元領事元領事十分了完先年全田領事元領事元領事

一 新田領事元領事元領事元領事元領事十分了完先年全田領事元領事元領事元領事
精備之元領事元領事元領事元領事十分了完先年全田領事元領事元領事元領事

同八年十月山代領事元領事元領事元領事元領事十分了完先年全田領事元領事元領事

新田領事元領事元領事元領事元領事十分了完先年全田領事元領事元領事元領事

明和元申年山代官过保五郎山為自中上書月
左通

水早極毛之年言掛物免除由向山前之極毛生米者り合意
之五米五斗以上一破免引方お之村方之役言家り物免除由向山
當時の回言之五斗以上極毛之村方言之者り物免除之竹山向山

申四月

辻 源五郎

一 五里不駐賃之事

此年負米津由之若船積河為三村方五里内之駐賃船賃之可程及先
生五里内之駐賃の八五里津張月幸駐此捨置又宿里敷之由
宿里敷
公儀地所不

一 御藏清米火買定法之事

此年負米以宿清米成り之今火買之代統者之村
公儀地所人系改更之村方之米統夫成共
公儀地所之極毛成
役人及之極毛形之村役人受取物是米改之清之可之百姓之極毛成
貢納物之細之宿清有之又宿清之村方之米之宿清之極毛成
之右之宿清之極毛成





地方以例録表之
終

通誌事

